

ウレタイトプライマー

非鉄金属用プライマーとして付着性を重視した下塗り材です。亜鉛は鉄に比べて付着性が悪く、また熱膨張も大きいことから柔軟性のある塗膜である事が必要条件です。ウレタイトプライマーは柔軟性と付着性に優れた設計となっておりますので、剥がれ等のトラブルが避けられます。

用途

1. 電力施設・プラント類などの非鉄金属構造物。
2. カラートタン・トタンなどの屋根材。
3. 亜鉛引きされた構造物・ダクト・パイプ類。
4. アルミ素材の塗り替え。

特長

1. 優れた付着性。
2. 素地に追従する柔軟性。
3. ハケ・ローラー・エアレスのいずれも塗装可能。

塗膜性能

試験項目	評価方法・品質基準	試験結果
付着性	JIS K5600(クロスカット法 1mm幅)	分類 0
耐屈曲性	JIS K5600(円筒形マンドレル法)	6mm合格
耐おもり落下性	JIS K5600(デュボン式 500g×50cm×1/2φ)	異常なし
耐液体性	JIS K5600(水道水 浸せぎ法) 23℃×3ヶ月間	異常なし
	JIS K5600(5%水酸化ナトリウム水溶液 浸せぎ法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K5600(5%硫酸水溶液 浸せぎ法) 23℃×7日間	異常なし
耐中性塩水噴霧性	JIS K5600 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板（鉄板） 乾燥条件：23℃×7日間放置 塗装膜厚：35～45μm

荷姿

ウレタイトプライマー	18kgセット	(主剤 16kg 硬化剤 2kg)
ウレタイトプライマー	4.5kgセット	(主剤 4kg 硬化剤 0.5kg)
ウレタイトプライマーシンナー	16L、4L	

常備色

グレー・白

塗面積

ハケ・ローラー・エアレス 約100㎡/18kgセット



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、
あらかじめご了承ください。





ウレタイトプライマー

塗装方法

素地調整	素地が新しい場合はシンナーにより脱脂を充分に行い、ゴミ・ホコリ等を全面清掃する。錆の発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンにより錆や死膜を除去する。ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。
混合	主剤：硬化剤 16：2（重量比）で混合
希釈	ウレタイトプライマーシンナー 10～20%の範囲で希釈
可使用時間	4時間以内（23℃）に使い切る。
塗装方法	ハケ・ローラー・エアレス
塗付量	0.15～0.18kg/m ² /回
塗り重ね時間	16時間以上7日以内（23℃）

標準塗装仕様

ハケ、ローラー塗りの場合

工程	仕上げの種類・系統	使用塗料	塗回数	塗付量 (kg/m ² /回)
素地調整	素地が新しい場合はシンナーにより脱脂を充分に行い、ゴミ・ホコリ等を全面清掃する。錆の発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンにより錆や死膜を除去する。ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。			
下塗り	ウレタン系	ウレタイトプライマー	1	0.15～0.18
塗装間隔	16時間以上7日以内（23℃）			
上塗り	特殊合成系	トタンライトデラックス	1	0.12～0.16
	”	メタルライト	1	0.12～0.16
	シリコン系	パワーシリコン #220	2	0.15～0.18
	フッ素系	パワーフロン #2200	2	0.15～0.20

注：高温時や消泡性の悪い時など、ローラーの巻き込み泡が発生する場合はローラー用調整剤を1%添加して下さい。

注意事項

※各種上塗りの注意事項は、別途参照願います。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度（80%以上）・低気温（5℃以下）の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたるとうねりや剥離を起すおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
5. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
6. 旧塗膜がタール系の場合、ブリードが生じますので使用しないでください。
7. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起すことがある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
8. シャッター等への塗装は、高温時にブロッキングする事がありますので避けてください。（トタンライトデラックス）
9. 化学物質過敏症の方は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
10. 塗装による臭気や、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
11. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 使用前には十分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は十分に気をつけてください。
3. 水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください（専用シンナーを使用してください）。
4. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で十分攪拌してください。
5. 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。又、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
6. 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
7. 硬化剤はイソシアネートを含有している為、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。又、皮膚に付着しないよう十分に注意してください。
8. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものを使用してください。
9. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナー又はアクリルシンナーを使用してください。
10. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
11. 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。